

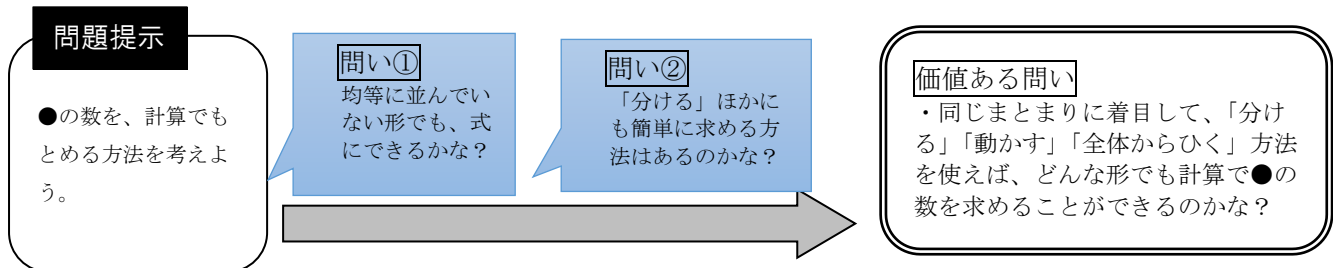
2年算数 単元名「かけ算（2）九九をつくろう」

場所 2年各教室
日時 11月6日（金）5校時
授業者 黒田 直子
宮崎 玲
滑川 百合奈

本時の主張

本時では、乗法九九を総合的に活用して、ものの数の求め方を、かけ算を用いて解決できるように工夫して考え、説明する。その際、「●を分ける」「●を動かす」「●を補ってひく」という考え方をさせ、その考え方を説明する中で、同じ数のまとまりに着目することで、乗法を使って計算していることに気づかせる。友達と自分の考えとの同じところ、違うところを認め合いながら多様な考えを導く。

児童の思考の流れ



1. 問いを生むための手だて

①問題提示場面

○問題全体を隠し、部分的に見せることによって課題に対する興味をもたせ、まとまりを意識させ、導入部で「きれいな形」を提示することで、『『きれいな形』でない形でも計算で求められるか』という問いを生ませる。

②比較検討場面

○発言を再話させたり、途中で止めて続きを言わせたりすることで考えを共有させる。
○意図的の指名を行い、一つ一つ式から図を確認することで、それぞれの考え方の理解を確実にする。

2. 指導計画（全■時間） 本時 15/17



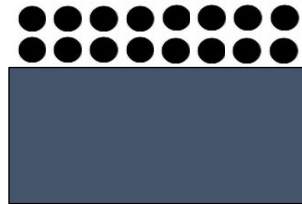

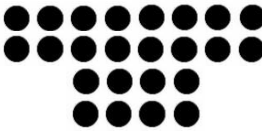
時	主な学習内容
1～3	6の段の九九の構成、暗唱と適用、問題解決
4～6	7の段の九九の構成、暗唱と適用、問題解決
7・8	8の段の九九の構成、暗唱と適用、問題解決
9・10	9の段の九九の構成、暗唱と適用、問題解決
11	1の段の九九の構成、暗唱と適用、問題解決
12	九九表を見直し、乗数と積の関係、乗法の交換法則を乗法のきまりとしてまとめる
13	乗法の性質やきまりを活用し、簡単な場合の2位数と1位数の乗法の答えの求め方を考える
14	倍を用いた問題解決
15（本時）	乗法九九を総合的に活用して、問題を解決する
16・17	学習内容の習熟・定着

3. 本時の学習（15 / 17 時間）

(1) 本時のねらい

均等に並んでいない場面において、乗法九九を総合的に活用して問題を解決することを通して、九九の理解を深める。

(2) 展開

学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
<p>1. 問題把握場面</p> <p>T: ●の数は何個ありますか？</p>  <p>C: 分かった！縦が3個ずつで、横が4個あるから12個だよ！</p> <p>C: だって3が4つあるから、$3 \times 4 = 12$</p> <p>T: 縦や横の数が分かれば、式にして全部の数が分かるってこと？</p> <p>だったら、次の問題はどうか？</p>  <p>C: あっ！8の段だ。</p>  <p>C: やっぱり！2×8で16個。</p>  <p>C: えっ？</p> <p>T: どうして「えっ？」って思ったの？</p> <p>C: だって同じ数ずつじゃないから。</p> <p>T: 今日の問題は、これです。</p>  <p>C: えっ！できないよー。</p> <p>C: かけ算でできそう。</p> <p>T: ●の数を、計算で求める方法を考えよう。</p>	<p>○まとまりを意識するために、部分のみを見せて興味をもたせる。</p> <p>○同じ数ずつのまとまりになっているという気づきを板書して、次の問題へのヒントとする。</p> <p>○横に並んでいる8つの●を見せる。</p> <p>○$8 \times 2 = 16$、$2 \times 8 = 16$になる意味を説明させて、まとまりで計算できることを確認する。</p> <p>○均等ではない形であることを確認して、自立解決のための図を配布する。</p>

2. 自力解決～比較検討場面

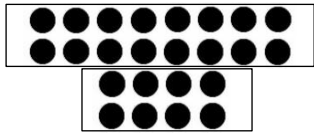


前回みたいに、まとまりを見つけたらできるかも…。

【問い】

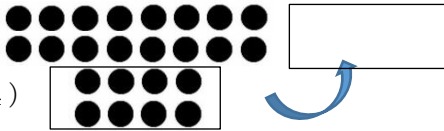
C: 2つに分けたら、求められそう。

(図1)



C: 移動すると、きれいな形になるよ。

(図4)

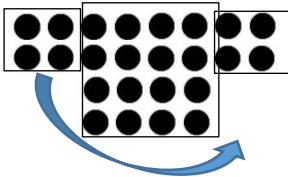


もっと他の方法もあるんじゃないかな？

【価値ある問い】

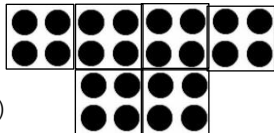
C: 3つに分けて移動したら、きれいな形になるよ。

(図3)



C: 私は、4つのまとまりが6個に見えました。

(図2)



T: いろいろな方法で求めることができるんだね。
他の形でもできるかな？



どんな図でも、まとまりを作ってかけ算を使ったら求められそう！

【価値ある問い】

C: できる、やりたい！

他の考えを探そうとする
姿勢を価値付ける。

【言語による促し】

○「分ける」「移動させる」「まとまりからひく」などの同じ数のまとまりを作ると、かけ算を使って求めることができることを式から図、図から式などの方法で共有させる。

他の課題に取り組みたい
という意欲を価値付ける。

【言語による促し】